第１号様式　　主要事業の進行状況報告書　　平成20年9月30日

7	下水道局	地球温暖化防止計画「アースプラン2004」の推進 （http://www.gesui.metro.tokyo.jp/oshi/infn0256.htm）
事業概要	下水道局の事業活動では、都内の電力消費量の１％を占める膨大な電力を消費し、温室効果ガスを91.6万t-CO_2（平成18年度）排出している状況である。 今後、公共用水域の一層の水質向上などを目的とした、合流式下水道の改善事業下水の高度処理の導入などにより、温室効果ガス排出量がさらに増加することが見込まれることから、一刻も早い計画的な取組みが求められている。 そのため、当局では、自主的かつ積極的な地球温暖化対策を図っていくために、平成16年9月、下水道事業における地球温暖化防止計画「アースプラン2004」を策定した。下水処理により発生する温室効果ガスの削減対策や温室効果ガスの排出が少ない資源・エネルギーへの転換などの取組により、2009年度（平成21年度）までに1990年度（平成2年度）比で6%以上削減することとしている。	
これまでの経過	平成19年度（計画：4年目）までの稼動実績は下記のとおり １．水処理工程で消費する電力量の削減（微細気泡散気装置の導入） みやぎ水再生センター、八王子水再生センター　など3ヵ所 ２．汚泥の高温焼却の導入（更新・改良） 南部スラッジプラント、清瀬水再生センター　など6ヵ所 ３．汚泥炭化炉の導入 東部スラッジプラント ４．再生可能エネルギーの活用 （小水力発電）葛西水再生センター、森ヶ崎水再生センター （ﾊﾞｲｵﾏｽ発電）森ヶ崎水再生センター（PFI事業運用） （下水熱利用事業）芝浦水再生センター ５．新電源（電力貯蔵型電池「NaS電池」）の導入 砂町水再生センター、北多摩一号水再生センター　など4ヵ所 ６．燃料転換の推進（重油から都市ガスへ） 多摩川上流水再生センター、清瀬水再生センター ７．汚泥のガス化による発電システムの研究・開発 清瀬水再生センター内で実証設備での研究を完了（H19年2月完了） 砂町水再生センター内で実証設備での研究を完了（H19年8月完了）	
現在の進行状況	平成20年度（計画：5年目）の進行状況は下記のとおり １．水処理工程で消費する電力量の削減（微細気泡散気装置、省電力型攪拌機の導入） 森ヶ崎水再センター、砂町水再生センター（4月稼動） ２．新電源（NaS電池）の導入 三河島水再生センター（4月稼動）	
今後の見通し	今後の稼動・取組み予定は下記のとおり １．水処理工程で消費する電力量の削減（微細気泡散気装置、省電力型攪拌機の導入） 清瀬水再生センター（H21年7月稼働予定）、浅川水再生センター（H21年4月稼働予定）、八王子水再生センター（H21年4月稼働予定） ２．新電源（NaS電池）の導入 新河岸水再生センター（H21年4月稼動予定） ３．汚泥の高温焼却の導入 南部スラッジプラント（H21年度中稼働予定）	

問い合わせ先	下水道局　計画調整部　計画課、事業調整課 技術開発課	電　話	03-5320-6594 03-5320-6587